

「あすへひとこと」(邑楽町老人クラブ連合会・あすへひとこと編集委員会)は、邑楽町在住の
お年寄りたちの貴重な体験談を、邑楽町あすへひとこと編集委員会が編集・発行したものです。

若い人たちに語り継ぎたい。そして、次の世代に残してほしい貴重な話しをお届けします。

お年寄りたちの貴重な体験談 〈第六回〉

あすへひとこと

子供の頃の思い出

母親がいろいろと工夫をして、色どりよく盛り合わせたお菜なのに、朝の食卓をひと目見て、今朝はご飯いらなないとわがままを言ってふてくされる。学校から帰ると珠算、ピアノ、英語と毎日のように塾通い、塾のない日は学校の勉強の予習復習を一生懸命するかと思うと、だから遊びでのびのびしたところが少ない。このようなのが今の子供の平均的な像ではないでしょうか。

戦前と戦後の子供の暮らしの移り変わりも、それはそれは大変なものです。

私が子供の頃の女の子の髪のはき方は、大抵お下げでした。桃割れといって二つの輪に結び

上げた人もいたようです。

着物は木綿の縞模様か染縞の地味なものでした。それにサンジャクという帯をしめ、きれいな色の前掛けを掛けました。たまの式典や遠足の時などは、メリンスカ銘仙の着物に袴を着け下駄を履いたものでした。

学校から帰ると、だれが誘うでもなく、ひとりでその場所へ集まるのでした。そこは今の細谷穀さん宅の前にあつた、長屋門のところでした。門の前に大きなけやきの木があつて、少しぐらいの雨なら雨やどりもできました。

長屋門の白い壁に落書きをしたり、ひなたぼっこをしたりしました。また、広場で馬乗り、縄飛び、まりつき、おはじき、石けりなど、男の子も女の子も



一緒になって、のびのびと遊びました。

おはじきを私たちはキシヤゴと言いました。ちよつとしたかけごとみたいな遊びで、男の子のメンコと同じようなものでした。上手な人は、少ない元手で袋いっぱい増やしました。お手玉は母に六角か俵型に作ってもらいました。初めは二こで遊び、だんだん上手になると三こ四こ五こ、まるで手品

師のように操る人もいました。

着物や食べ物も貧しくても、心は豊かでもいつも秋の空のように澄んでいました。

家の手伝いや子守などをする子もいましたが、仕事から解放されるとみんな一緒にになり、友達どうしけんかをして、すぐに仲良しになりました。

当時のわんぱく小僧も今ではいいおじいさんになって、顔を合わせるたびに子供のことを語り合い、昔をなつかしく思い出しています。

私たちが子供の頃は、家庭では親に従い学校では先生の言うことを聞き、みんな素直なよい子でしたから、家庭内暴力などというのは、夢のような話でした。よく遊んだ楽しい思い出ばかりです。

高齢者の語り第一集

「あすへひとこと(昭和六一年二月一日発行)―思い出をたどって―」より

子供の頃の思い出
故・新井カクさん(坪谷・二二区)

ひとりごと From editors

▼日が落ちるのがだいぶ早くなってきました。もう季節は晩秋。特に朝晩は寒さを感じます。季節の変わり目、風邪などには気をつけたいものです。▼秋と言えば、スポーツや読書、芸術など思い浮かべますが個人的には、やはり食欲の秋を連想します。たくさんの食材が旬を迎えるこの季節。皆さんは秋の味覚で何を思い浮かべるでしょうか。海の幸、山の幸…。たくさんありますが、中でも私は秋刀魚が大好物。塩焼きにして、大根おろしと一緒に食べると最高です。▼ほかに鮭もいいですね。ホイル焼きにしたり、ムニエルにしたら絶品。考えただけで、食欲がわいてきます。皆さんは、秋の食材で何が好きですか。(清)



Photo 広報担当者



一面に広がる
コスモス絨織
(下中野)



広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成23年11月号 No.542

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5511 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

